

## 12月まで長生きしたコガネグモおよびナガコガネグモ

野口 大介

Long-lived individuals of *Argiope amoena* and *A. bruennichi*  
survived until December

Daisuke Noguchi

In 2021, individuals of *Argiope amoena* and *A. bruennichi* (Araneae: Araneidae) that survived until December were observed in Nagasaki.

長崎市文教町において、2021年12月1日の朝、前日からの強風、雨、寒気の影響のためか、それまでは網上にいたコガネグモ *Argiope amoena* が、網を離れ、コンクリート壁に逃れていた（図1）。翌日の昼間もコンクリート壁にいたが、夕方に造網を始め、翌3日朝に網を完成させていた。同月9日には網を壊し、翌10日以降は姿が見えなくなった。



図1. コガネグモ（長崎市文教町で2021年12月1日の朝に撮影）。

コガネグモ成虫の出現時期は5~9月で(小野・緒方 2018), 12月における生息は, 以前にも報告されている(鈴木 2019). 本種は, 地域によっては準絶滅危惧種に選定されており, その生態に関する本知見が, 今後の保全を検討する上で役立てば, と思う.

同じく2021年12月1日, このコガネグモの生息地点から10 mほどの場所で, ナガコガネグモ *Argiope bruennichi* が, 網上にいた(図2). 翌2日の夕方に網を壊して下草に降りているのを確認し, 翌3日以降は姿が見えなくなった. ナガコガネグモ成虫の出現時期は7~11月とされる(小野・緒方 2018). 12月におけるナガコガネグモの生息を確認したのは, 2019年, 2020年に引き続き(野口 2020, 2021), これで3年連続となった.



図2. ナガコガネグモ (長崎市文教町で2021年12月1日の朝に撮影).

#### 引用文献

- 野口大介 2020. 長崎における秋から冬にかけてのクモの生態とチュウガタシロカネグモの UV-vis 反射スペクトル測定. 日本科学教育学会研究会研究報告, 34(7): 33-38.
- 野口大介 2021. 2020年に長崎県で見つけたクモの覚え書き. くものいと, (54): 41-51.
- 小野展嗣・緒方清人 2018. 日本産クモ類生態図鑑 自然史と多様性. 東海大学出版会, 平塚, xiii+713 pp.
- 鈴木佑弥 2019. 季節外れのコガネグモ. Kishidaia, (114): 69.